

北西太平洋サンマ中短期漁況予報

-分布回遊状況解析調査に基づく実用化試験-

1. 今後の見通し

予測期間:2003年11月下旬から12月下旬までの旬別
 対象海域:道東海域、三陸海域、常磐海域
 対象漁業:さんま棒受網漁業
 対象魚群:南下回遊群

1) 道東海域

- (1) 来遊量: 11月下旬には魚群が逸散して断続的となる。
- (2) 漁場: 11月下旬以降、襟裳岬南沖が漁場となるが散発的となり、12月上旬には消滅する。

2) 三陸海域

- (1) 来遊量: 11月下旬には低位にまで減少し、12月上旬に断続的となる。
- (2) 漁場: 11月下旬以降は南部主体となる。12月上旬以降散発的となり、12月中旬には消滅する。

3) 常磐海域

- (1) 来遊量: 11月下旬以降平年並みの水準で推移し、12月中旬以降は断続的となる。
- (2) 漁場: 11月下旬以降は鹿島灘・犬吠周辺が主漁場となる。

2. 予測の概要

海 域		11月下旬	12月上旬	12月中旬	12月下旬
道東海域	来遊量				
	動向	断続的			
	漁 場	襟裳岬南沖			
三陸海域	来遊量				
	動向	中位減少	断続的		
	漁 場	南部	南部		
常磐海域	来遊量				
	動向	低位水準	低位水準	断続的	断続的
	漁 場	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺

3. 漁況の経過概要

(11月上旬)

1) 道東海域

- (1) 来遊量: 資源量指数から判断した来遊量の水準は、前期に比してかなり低下し、前年の水準を下回った。また日別 CPUE の推移から判断すると、期の初めには来遊量が多かったが、以後はかなり低下した模様。
- (2) 漁場: 漁場は、落石南南東沖及び襟裳岬南東沖に形成された。落石南東 50~80 海里付近で、期前半に漁場水温 11 台で漁場が形成され、好漁もみられた。襟裳岬南東 70~90 海里付近の漁場水温 9 台で漁場が形成されたが、期前半に消滅した。
- (3) 魚体: 大 2 - 中 5 - 小 3 が主体。

2) 三陸海域

- (1) 来遊量: 資源量指数から判断した来遊量の水準は、前期に比して大幅に上昇し、10月中旬に匹敵するものとなった。また、前年の水準に比較して約5倍で、過去14年間と比較して第5番目を記録した。また日別 CPUE の推移から判断すると、期前半は高水準の来遊であったが、期後半には若干低い水準となった。
- (2) 漁場: 大船渡湾~金華山沖 20~60 海里的漁場水温 15~17 台に期前半を主体に漁場が形成され、好漁もみられた。
- (3) 魚体: 大 2 - 中 5 - 小 3 が主体。

3) 常磐海域

- (1) 来遊量: 資源量指数から判断した来遊量の水準は、前期に比して若干低下した。過去 14 年間と比較しても低い部類に属した。また日別 CPUE の推移から判断すると、期を通して低水準の来遊が断続的に有った模様。
- (2) 漁場: 期前半に、犬吠崎の東~北北東 20~40 海里、漁場水温 16~17 台で漁場が形成された。
- (3) 魚体: 大 2 - 中 5 - 小 3 が主体。